

は し が き

関西大学経済・政治研究所は、「社会に貢献する研究所」を目指して、産業や行政、地域社会との連携を重視した研究活動を行っています。『セミナー年報』は本研究所で行なわれた報告や講演をまとめて刊行したもので、今回で35冊目となります。本冊子は2023年度開催の「産業セミナー」と「公開講座」を収録しております。

本研究所は5名程度の研究班を単位に研究活動を行っていますが、「産業セミナー」は各研究班が年1回開催しております。大阪商工会議所、大阪市工業会連合会、大阪市産業経営協会、株式会社りそな銀行からのご後援をいただき、1962年の開始以来60年以上にわたり実施してきました。2023年度の「産業セミナー」は5つの研究班により第256回から第260回までの5回開催されました。今年度の研究班は、「関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班」、「財政と公会計研究班」、「民主主義の再生と『公共圏』研究班」、「サブサハラ政策研究班」、「近代関西経済の発展とアジア・アフリカの国際関係史研究班」の5つの班となります。

こうした研究班による「産業セミナー」の他に、本研究所として「公開講座」を開催し、重要な問題について、学内外の著名な研究者や実務家をお招きし、広く一般の方々に向けてご講演いただいております。「公開講座」は、1980年より40年以上にわたり開催していますが、2023年度は、第221回に神戸大学大学院経済学研究科長・教授宮尾龍蔵先生より「日本経済と今後の金融政策」というテーマで、第222回に関西大学名誉教授本多佑三先生より「日本の金融政策：過去、現在、そして今後」というテーマでご講演いただきました。

本冊子の『セミナー年報』は、これらの「産業セミナー」と「公開講座」が収められています。なお、各研究班の研究成果は、これらの他に、『研究双書』や『調査と資料』として公刊されております。これら刊行物は、本研究所のウェブサイト（<https://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/>）でも紹介しておりますので、あわせてご参照いただければと思います。

本研究所は、社会への貢献を目指して研究活動を続けておりますが、今年度も「産業セミナー」および「公開講座」をはじめ、本研究所の公開行事を成功裡に終えることができました。ご執筆いただいた皆様をはじめ日頃から本研究所をご支援いただいている皆様に厚く御礼を申し上げます。引き続きご支援をお願いできれば幸いに存じます。

2024年1月

関西大学 経済・政治研究所
所長 野 坂 博 南

